

## シラバス情報

授業方法	講義 ・ 実験 ・ 実習		
系 列	自動車整備		
科 目 名	シャシ電装整備		
必修・選択	必修科目 ・ 選択科目		
対象学科	一級自動車整備科・二級自動車整備科自動車整備士コース		
年次学期・曜日・時限	2年前期 ・ 木曜日 ・ 3・4時限あるいは5・6時限		
時 限 数	24時限（中間及び期末試験を除く）		
担当教員名	本田 晴彦		
実務経験	有 ・ 無		
	国土交通省に認証された事業場における保守・点検・分解・組立など自動車整備士としての経験を活かし、整備を行う上で必要となるシャシ電装の整備についての講義を実施する。		
授業の目的	シャシ電装を構成する各 부품の構造・機能、及び、それらの装置の作動及び整備作業について講義する。		
テキスト	①二級自動車シャシ（日本自動車整備振興会連合会 発行）		
授 業 計 画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト 範囲
第1回	計器1	スピード・メータ及びエンジン・タコメータの概要及び構造等について解説	①P.173～175
第2回	計器2	ウォータ・テンプレチャ・ゲージ等の各種計器類の概要等について解説	①P.176～179
第3回	警報装置1	ライト消し忘れ警報装置の概要、構造及び作動について解説	①P.180～182
第4回	警報装置2	各種ウォーニング・ランプ及び液面警告装置の概要、作動等について解説	①P.181～182
第5回	外部診断器	外部診断器の概要及び特徴について解説	①P.183～185
第6回	空気調和装置1	エアコンの概要、分類、構造、機能及び冷凍サイクルについて解説	①P.186～188
	中間試験	第6回までの授業内容に関する筆記試験	
第7回	空気調和装置2	冷凍サイクルを構成する機能部品について解説	①P.188～194
第8回	空気調和装置3	オート及びマニュアル・エアコンの構造、作動、種類及び特徴について解説	①P.195～200
第9回	空気調和装置4	冷媒量の点検、冷媒の充てん作業及び各部の点検、整備作業について解説	①P.200～203
第10回	安全装置1	SRSエアバッグの概要、構造、機能及び種類について解説	①P.210～213

第 11 回	安全装置 2	シート・ベルトの概要、構造、機能及び種類について解説	①P.213～215
第 12 回	付随装置	カー・ナビゲーション装置の概要、構造、機能及び種類について解説	①P.215～221
	期末試験	第1回～第12回までの授業内容に関する筆記試験	
到達目標	シヤン電装の部品名称・構造・機能・作動を修得するとともに、それらの点検方法及び整備作業を理解する。		
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、中間試験並びに期末試験を合算して行う。		
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。		
成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が40点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p style="padding-left: 40px;">中間試験の点数 30%</p> <p style="padding-left: 40px;">期末試験の点数 40%</p> <p style="padding-left: 40px;">平常点 30%</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が60点以上である場合、以下によって評価する。</p> <p style="padding-left: 40px;">60～69点 = 可、70～79点 = 良、80～89点 = 優、90点以上 = 秀</p> <p>60点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで60点以上のとき履修を認定し、成績は60点 = 可とする。</p>		
成績評価できない場合の基準	全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、又は、成績評価が60点未満の場合。		